

平成25年度 子育て支援に関する調査（就学前児童保護者用）

調査へのご協力をお願い

神崎町では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、平成27年度から計画的に給付・事業を実施することを予定しています。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。実際に利用するにあたって、利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

■記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

12月6日（金）までに ポストに投函してください。

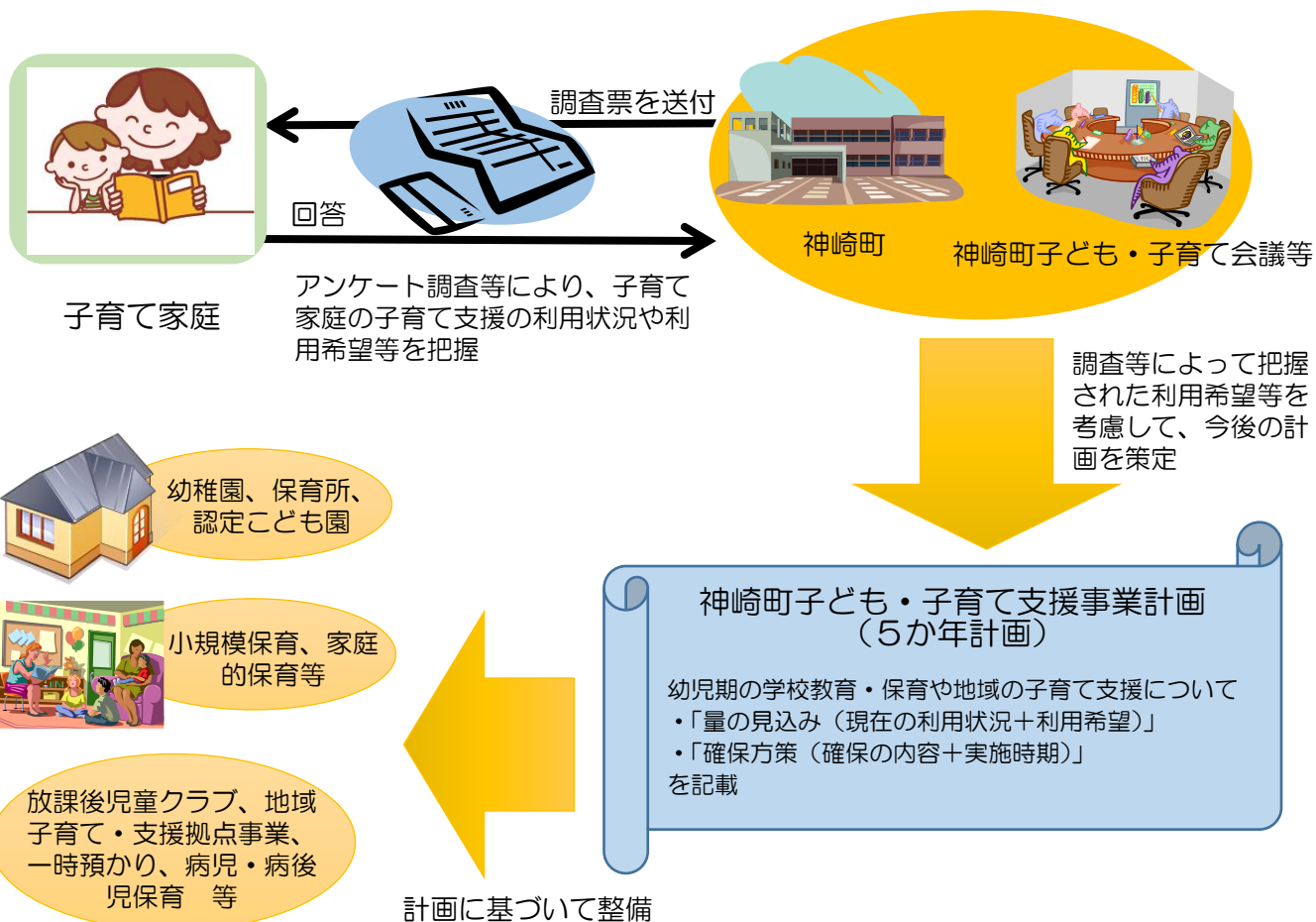
あて名のお子さんが保育所に入所されている場合は、保育所に提出してください。

■調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

■調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

神崎町保健福祉課 神崎保育所 担当：菱木 (Tel)0478-72-2058

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保 育 所 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認定こども園 : 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設 (就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・ 子 育 て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育 : 問16までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問17以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

問14 問13で「1.」～「4.」（就労している）を選んだ方にうかがいます。「就労日数」、「就労時間（残業時間を含む）」などの就労状況についてお答えください。
 時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

就労条件	(1) 母親			(2) 父親				
就労日数	1週当たり	□	日	1週当たり	□	日		
就労時間 (残業時間を含む)	1日当たり	□	□	時間	1日当たり	□	□	時間
家を出る時刻		□	□	時		□	□	時
帰宅時刻		□	□	時		□	□	時

問15 問13で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。

転換希望	(1) 母親	(2) 父親
下の番号から <u>1つ</u> 選んで、右の枠内に記入してください。		

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問16 問13で「5.」「6.」（就労していない）を選んだ方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

問17-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。
時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時～	<input type="text"/>	<input type="text"/>)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	---

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時～	<input type="text"/>	<input type="text"/>)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	---

問17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 神崎町内	2. 他の市区町村
---------	-----------

問17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ <input type="text"/>)

問17-5 問17で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ <input type="text"/> <input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ <input type="text"/>)

問18 **すべての方にうかがいます。** 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。 当てはまる番号**すべてに**○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 ※ (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 ※ (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 ※ (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 ※ (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 ※ (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 ※ (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設 ※	10. 居宅訪問型保育 ※ (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター ※ (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

※の付いている施設・制度については、現在神崎町には該当する施設・制度はありませんが、利用を希望されるものについてお答えください。

問18-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」の**いずれかに**○をつけてください。

1. 神崎町内	2. 他の市区町村
---------	-----------

問18-2 **問18で「1.」～「12.」に○をつけた方にうかがいます。**

保育サービスを利用したいと考えている理由は、主にどのようなことですか。当てはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 現在就労している
2. 現在就労しているが、もっと日数を増やしたい
3. 就労予定がある／求職中である
4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障害を持っている
8. 学生である／就学したい
9. その他 ()

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問19 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)について、利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用したい

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. 利用したいとは思わない

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①パパママ学級	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②町保健福祉課の情報・相談サービス	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④どんぐりの森・たんぽぽ広場	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤教育相談センター・教育相談室 ※	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥幼稚園の預かり保育 ※	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦地域子育て支援センター ※	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧家庭児童相談室 ※	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨児童館 ※	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩家庭福祉員(保育ママ) ※	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

※⑤～⑩の施設・制度については、現在神崎町には該当する施設・制度はありません

**あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問17で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していられない方は、問24にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ➡ **問23-1へ**

2. なかった ➡ **問24へ**

問23-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した ※	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した ※	□ □ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した ※	□ □ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
ケ. その他 ()	□ □ 日

※の付いている事業・制度については、現在神崎町では該当するものではありません。

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問23-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。 ※現在、神崎町にこうした施設はありませんが、利用希望についてお答えください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ➡ □ □ 日 ➡ **問23-3へ**

2. 利用したいとは思わない ➡ **問23-4へ**

問23-5へ

**あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問24 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/>	<input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 ※ (通常の就園時間を延長し預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	<input type="text"/>	<input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター ※ (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/>	<input type="text"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ ※ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/>	<input type="text"/> 日
5. ベビーシッター ※	<input type="text"/>	<input type="text"/> 日
6. その他 ()	<input type="text"/>	<input type="text"/> 日
7. 利用していない		

→問25へ

※の付いている事業・制度については、現在神崎町では該当するものではありません。

問24 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問24-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()	

問25 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	合計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
ウ. 不定期の就労		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
エ. その他()		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 利用する必要はない → 問26へ				

問25-1 問25で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した ※ (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した ※	<input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	カ. その他()	<input type="text"/> 泊
2. なかった		

※の付いている事業については、現在神崎町では該当するものではありません。

問26で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

**あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

➡ **5歳未満の方は、問31へ**

問27 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
4. 児童館 ※1	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター ※3	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答。なお、神崎町では該当する事業等は実施していません。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できますが、神崎町では該当する事業は実施していません。

※3 神崎町では該当する事業は実施していません。

問28 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。※だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	<input type="text"/>	日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答。なお、神崎町では該当する事業等は実施していません。

※2 神崎町では該当する事業は実施していません。

問29 問27 または問28 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→	利用したい時間帯					
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="text"/>	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時まで
3. 利用する必要はない								

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→	利用したい時間帯					
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="text"/>	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時まで
3. 利用する必要はない								

問30 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→	利用したい時間帯					
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="text"/>	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時まで
3. 利用する必要はない								

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度についてうかがいます。

問31 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。また、取得していない方はその理由を下記点線内1～15から選んでご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ➡ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div>	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ➡ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所(園)などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 15. その他()

問31-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
 2. 育児休業給付のみ知っていた
 3. 保険料免除のみ知っていた
 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問31 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

➡ 該当しない方は、問32へ

問31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|-------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である ➡ 問31-9へ |
| 3. 育児休業中に離職した ➡ 問32へ |

(2) 父親

- | |
|-------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である ➡ 問31-9へ |
| 3. 育児休業中に離職した ➡ 問32へ |

以下の設問は、問31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問31-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

問31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さん
が何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

□	歳	□	□	ヶ月
---	---	---	---	----

(2) 父親

□	歳	□	□	ヶ月
---	---	---	---	----

問31-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 (|) |

②父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 (|) |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 (|) |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 (|) |

改めて、問31-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問31-7で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問31-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10. その他（ ） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10. その他（ ） |

問31-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問31-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

すべての方に、仕事と子育て・少子化対策についてうかがいます。

問32 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 仕事で帰宅時間が遅いこと |
| 2. 自分が病気・ケガをした時や急な用事の時に、代わりに面倒を見る人がいない |
| 3. 家族の理解が得られないこと |
| 4. 職場の理解が得られないこと |
| 5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる |
| 6. 子どもの面倒をみってくれる保育所などが見つからない |
| 7. 子どもと接する時間が少ない |
| 8. その他 () |
| 9. 特になし |

問33 少子化対策について、どのようなことが大切だと感じますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 結婚に対する支援 | 2. 労働時間の短縮 |
| 3. 母子保健のサービスの充実 | 4. 妊産婦・小児医療サービスの充実 |
| 5. 不妊治療に対する支援 | 6. 育児相談の充実 |
| 7. 育児休業制度の普及・啓発 | 8. 各種保育サービスの充実 |
| 9. 保育所や幼稚園などの費用の軽減 | 10. 教育費の負担軽減 |
| 11. 出産に対する一時金の支給 | 12. その他 () |
| 13. 特になし | |

